



[エマオ通信]

No.16 (2025 年 11 月 15 日発行)

発行人 高良 研一 (会長)

編集人 稲川 仁 (事務局長)

発行者 木村 均 (書記)

日本バプテスト連盟全国壮年会連合 「伝道者養成と教会形成を担う働き」

25/26 年度主題: 「私と教会が元気になるには」 聖句: わたしたちの心は燃えていたではないか (ルカ 24:32)

<メッセージ> 「エマオからエルサレムへ」 田坂 元彦 (横浜ニューライフ教会牧師)

「私たちに聖書を説き明かしてくださる間、私たちの心は内で燃えていたではないか」 (ルカ 24:32)

10 月、「私と教会が元気になるには～エマオからエルサレムへ」というテーマで、全国壮年会連合オンライン研修会が開催されました。私たちは意気消沈しても、主が御言葉を説き明かしてくださると、心燃やされ元気になります。ただ私たちは「仲間はまだ落ち込んでいるのでは?」「燃えているのは自分だけなのでは?」などと思い、言われないと燃やされている喜びを分かち合わないものです。「温泉」という意味を持つ村エマオで目が開かれると、「我々はもう燃やされている!」と弟子たちはカミングアウトし始めました。そして都へ引き返して仲間を励まし、聖霊が臨まれて、教会がエルサレムで誕生しました。困難だけでなく、小さな喜びや感動を私たちは分かち合い、聖霊の感謝と喜びにあふれる教会を建て上げてまいりましょう!

今回の研修会では、最初の 30 分間、2 人 1 組のグループに分かれて語りあい、皆さんはエマオへ向かう途上の弟子たち役、講師の私はイエスさま役で各グループを順番に訪ね、最後に全員でメインルーム (エルサレム) に戻って再会を喜ぶ、という聖書の追体験をしました。最初は少し緊張気味だった参加者の皆さんの顔でしたが、エマオから戻った後はとても和やかな表情になっていたように思いました。私の教会でも普段から 2~3 人の小グループで御言葉を分かち合い、共に喜び共に涙し、心あわせて祈ることを大切にしています。私と教会の元気の源です。その中心に主イエスがおられ、私たちは今日も心燃やされるからです。

2027 年度の全国壮年大会の準備が神奈川で始まっています。全国各教会伝道所で主に心燃やされている喜びを、来夏は福岡、再来年は神奈川で、皆さんと分かち合えるのを楽しみにしています!



<証①> 「讃美歌との新たな出会い」 南原 英生 (緑の牧場キリスト教会)

私は、1947 年生まれ 78 歳です。結婚するまでは宗教は大嫌いでした。妻とは中学からの同級生ですが、付き合ってから初めて彼女がクリスチャンだと知りました。大いに驚きましたが、「教会には誘わない」という約束で結婚しました。しかし、彼女の生き方の違いと、一緒に教会に行くと言うと満面の笑みで喜んでくれるのでいつの間にか一緒に礼拝に行くようになり、結婚して 5 年目、ヨハネの福音書 4 章 18 節「わたしは、あなたがたを捨てて孤児にはしません。」というみ言葉をいただいて救いに与り、それから 9 年後、マタイの福音書 21 章 3 節の「主がお入用なのです。」とのお声を聴いて洗礼の恵みに与りました。それから家族で、子どもたちが独立してからは二人で教会生活を守ってきました。

最近、讃美歌について、作詞・作曲年、作詞・作曲者の思いや背景に興味を持つようになりました。作詞・作曲者の思いに心を向けたとき新たに讃美歌に出会った気がしました、とても喜ぶことができない状況で主を賛美し、本当に感謝と喜びに満たされている、神様のご臨在なしには考えられないことだと思いました。讃美歌が心に迫ってくる感じがしました。

主日礼拝では司会の奉仕をさせていただいていますが、讃美歌の紹介をするときに、曲番号・題名だけでなくその年代、作詞者の思いや背景などを簡単にお伝えするようにしています。そうすると皆さんの気持ちが一つになり、賛美が力強くなったように感じます。また、第一礼拝で奏楽のご奉仕もさせていただくようになりました。62 歳の時、「何か新しいことに挑戦」と思って始めたサクソが役に立ち、それで奏楽奉仕ができる、ここにも讃美歌との新たな出会いがあり、本当に神様のご計画の不思議さを感じます。こんな小さな力を大きく用いてくださる神様の恵みと喜びに満たされて毎週奉仕させていただいています。本当に感謝です。

これからも、賛美で主にお仕えしていきたいと願っています。



クリスマス礼拝で CS の子どもたちと共に

<証②> 「主がお入り用なのです。」

伊東 昌彦（横浜 JOY バプテスト教会）

教会に連れて行ってくれた方、「イエスキリストを救い主と信じます。」という言葉を通りとして導いてくださった方を通して、私はバプテストに導かれました。「恐れる事なかれ、我々と共にあり。」と御言葉を通してクリスチャンとして歩む上での励ましを与えてくださった方もおられました。

教会員の方で土地家屋調査士として開業されている方がいて、補助者になるよう勧められ前職を退職しました。サラリーマンとは違って、平日でも教会のために奉仕することが出来ると教えていただきました。教会学校の子供達をバスに乗せてキャンプ場に連れて行ってあげたいと思い、補助者の仕事の合間に運転免許試験場に行かせてもらい大型二種免許を取りました。前職は自動車販売会社でしたので、マイクロバスにも接しておりましたので、運転する事に抵抗はありませんでした。マイクロバスで、70km離れた森の中にあるキャンプ場へ教会学校の子供達を乗せて何度か行きました。

その後仕事では、土地家屋調査士から別の事務所を紹介され、その年に土地家屋調査士資格を取得しました。1990年に独立するまでの約11年間お世話になり、多くを学ばせて頂きました。そして教会の働きもさせてもらいました。

今年の神奈川連合壮年会総会後の交わりの時、からし種の会（ユース会）の顧問をされている田坂元彦牧師からKCK（関西、中部、神奈川連合）ユースキャンプがあり、神奈川からマイクロバスで名古屋まで行ってくれる運転手を求めています、という声がありました。二泊三日でしたので、即答はできませんでしたが、応募者がいないことを後で知り運転手として行くことを伝えました。田坂牧師もマイクロバスを運転できる免許を取得され、二人交代で名古屋教会まで片道350kmを走りました。KCKユースキャンプは、とっても暑い日の中でしたが、ユースが自主的にプログラムを作り、霊的に励まされた大会でした。大会後も自主的に祈り会を始めています。



8月2日、名古屋からの帰り道。
左運転手が伊東。右撮影者は田坂牧師。

<今後の歩みと働きのための祈り>

- ◎ 10月18日（土）全国壮年会連合オンライン研修会 YouTube 限定公開
「私と教会が元気になるには～エマオからエルサレムへ」田坂 元彦 先生
https://youtu.be/F1DjrjV641s?si=tm6Nu_ewZwqc_l57
(124) 2025.10.18 全国壮年会連合 オンライン研修会 田坂元彦先生 <タイトル> 私と教会が元気になるには ～ エマオからエルサレムへ ～ - YouTube
- ◎ 11月1日（土）奨学金委員（北村委員長、古田委員）による西南学院大学神学部の神学生の面談が行われました。新しく神学部で学ばれる神学生のためにお祈りいたします。少しでも多くの献身者が起こされますように。
- ◎ 福井教会への第1回協力伝道派遣チーム（伝道隊） 11月15-16日 高良研一会長、高井透会計担当役員と稲川仁事務局長（2日のみ）の主にあつての福井教会での良き働きと交わりのためにお祈りください。
- ◎ 11月8日（土）（10:30-14:00）第2回地方連合壮年会等代表者会議（オンライン）が各地区の壮年会長（代務者含む）の参加により、全国壮年会連合の現在の課題などを協議し、全国壮年会連合として、具体的に何ができるかを検討しました。また、属性（性別、既婚・未婚、年齢によらない）壮年会や今後のその在り方についての検討委員会を設置することにしました。
- ◎ 西南学院大学神学部（神学コース）、東京バプテスト神学校・九州バプテスト神学校で学ぶ専攻科の神学生の豊かな学びの為に。そして、卒業後の歩みの準備のために。更に、これらの神学校で学ぶ献身した神学生が起こされるように。特色と強みを生かした三つの神学校で、諸教会・伝道所の各教会員が学ぶ機会が豊かに供えられるように。特にオンライン受講やスクーリング等により、信徒説教のための学びを深め、無牧師の教会・伝道所等での奉仕が豊かにできますように。信徒一人ひとりの献身から「教役者の働きを担う献身」へ導かれますように。
- ◎ 全国壮年会連合は来年8月6-8日の西南学院大学での第一回バプテストフェスティバルに共催しておりますので、皆様のご参加を願っております。なお、初日の午前11時からランチを共にしながら、全国壮年大会を短く開催しますので、併せてご参加を期待しております。
- ◎ 2028年の全国壮年会連合結成50周年記念大会の準備のために、主の備えが豊かにありますように。

<お願い>

- ◆ それぞれのところで主にあつて頑張っておられる方々やその働きをご紹介します。このエマオ通信でその証を紹介してまいります。
- ◆ 第1回壮年大会（1965年目白ヶ丘教会他）開催以来の大会資料をお持ちの方をご紹介しますように。

